

V 文化財

■ I 新地町の歴史的特色

町内では、新生代（約6500万年前）から近・現代に至るまで、長い期間の遺跡が確認されています。

鹿狼山には新生代の地層から、貝の化石の堆積層が確認されています。

旧石器時代については、昭和50年代の圃場整備に伴う試掘調査により、三貫地遺跡（原口地区）から1600点に及ぶ、約3万年前の物と考えられる製造途中の石器が見つかっています。

縄文時代の遺跡は、国指定史跡「新地貝塚 附 手長明神社跡^{つけたり}」、福島県指定史跡「三貫地貝塚」という二つの貝塚遺跡が取り分け有名です。新地貝塚は江戸時代、伊達藩で作成された「奥羽観蹟聞老志第4巻^{おうかんせきもんろうし}」に老いた鹿、白い狼を連れた手長明神が、鹿狼山の頂上から手を伸ばして海のなかに手を入れて貝を採って食べていた逸話と共に紹介されており、江戸時代以前からその存在が知られていることが伺えます。三貫地貝塚は、昭和27年、29年の2回、日本考古学協会、東京大学人類学教室により行われた学術的な調査の結果、百数体分の人骨がみつかっています。

古墳時代の遺跡は、雀塚古墳群や富穴前古墳群をはじめ、古墳時代末になると製鉄が行われていたことがわかっています。相馬共同火力発電所は、その建設に先駆け調査が行われ、大規模な製鉄遺跡が確認されました。古墳の築造や製鉄の技術は、いずれも大和政権との強い結びつきを示すものです。なお、この土地で鑄造された鉄は、軟らかく、武器や工具にするには適していない為、祭祀などの道具に加工され、宮城県が多賀城府に供給されていたことがわかっています。

戦国時代（約500年前）の新地町は、相馬氏の所領でした。北には伊達藩が迫っており、新地城（蓑首城）、駒ヶ嶺城（臥牛城）、谷地小屋要害が相馬氏により築城されましたが、天正17年（1589年）伊達藩により攻め落とされ、以降、明治政府が樹立する1868年までの約280年にわたり、新地町は伊達藩の所領となります。藩境は現在の国道113号線で、駒ヶ嶺の白子下C遺跡からは藩境を示す遺構が確認されています。また今泉、藤崎地区では仙台藩により運営された大規模な製塩跡が確認されており、伊達藩にとって重要な土地であったことが伺えます。

近代、全国的に倒幕運動が盛んになると町もまた戊辰戦争（慶応4年）の戦火に巻き込まれ、今泉地区や大戸浜地区では特に熾烈な戦いが繰り広げられました。

不遇にも戊辰戦争の戦場と化した新地町からの復興と、新しい時代への対応が迫られるなか、これからの近代化に向けた激動の時代を乗り越える為、もっとも必要なものは学業であると説いた目黒重真が中心となり学制頒布（明治5年）に先駆け、氏家閑存を初代校長に迎えて観海堂が開校しました。福島県、宮城県の中で最も古く創立された共立学校と考えられます。歴史的意義が重要視され県指定史跡となっています。平成23年3月11日、東日本大震災の津波により建物は全壊・流失しましたが、歴史的な意義は失われておらず、平成30年2月に観海堂跡と名称を変更しました。

民俗・習俗に関しては、藤崎地区で寛政10年より駒ヶ嶺城主宮内信清らが少しずつ揃え

たと伝わる「藤崎大般若経」が残り、現在でも「転読会」が行われており、町指定有形文化財に指定しています。福田地区の諏訪神社には、丸森町から伝わった「福田十二神楽」が現在もなお伝承され、福島県指定無形民俗文化財となっています。

■ 2 指定文化財

(1) 国指定

名 称	指定年	所 在 地	種 類	時 代	内 容
新地貝塚 附 手長明神社 跡	昭和5年 (1930)	小川字貝塚西	史 跡	縄文時代	縄文後・晩期の貝塚 手長明神伝説の舞台 新地式土器の標式遺跡
	発掘調査 明治23年 東京人類学会 大正13年 東京帝国大学理学部人類学教室 平成12年 新地町教育委員会 埋蔵文化財調査技術協力職員(福島県教育委員会)				

(2) 県指定

名 称	指定年	所 在 地	種 類	時 代	内 容
三貫地貝塚	昭和43年 (1968)	駒ヶ嶺字田丁場 ・三貫地西	史 跡	縄文時代	縄文後・晩期の貝塚 人骨百数十体が出土
	発 見 明治26年 発掘調査 大正13年 東京帝国大学人類学教室 昭和27年 日本考古学協会 昭和29年 東京大学人類学教室 昭和52年 福島県文化センター遺跡調査課				
観海堂跡	昭和41年 (1966)	駅前1丁目4	史 跡	明治時代	明治5年学制頒布前の 共立学校
	保存修理解体復元工事 平成7年度 屋根修繕工事 平成20～21年度 平成23年3月11日発生の東日本大震災の津波により全壊流失 平成25年7月26日観海堂復興委員会を発足 平成30年2月 6日「観海堂跡」へ名称を変更				
白幡のいちよう	平成9年 (1997)	駒ヶ嶺字白薄	天然記念物		誕生 1700 年半ば頃 樹齢 260年 別名 さかさいちよう 調査 平成3年樹齢測定
福田十二神楽	平成5年 (1993)	福田字諏訪	重要無 形民俗 文化財		福田地区に伝わる十二の 演目からなる神楽

(3) 町指定

名 称	指定年	所 在 地	種 類	時 代	内 容
大般若経 600巻	平成16年 (2004)	駒ヶ嶺字中西	有形文化財	寛政10年 (1798)	藤崎地区に残る大般若経 藤崎地区所有
	書蔵庫建設 仏像修復	平成21年度 平成25年度			

VI 生涯学習・社会教育

■ 1 新地町社会教育委員・新地町公民館運営審議会

任 期(2年): 令和6年4月1日 ~ 令和8年3月31日		
職 名	氏 名	選 出 区 分
委員長	大須賀 昇	NPO法人(ドリームタウンしんち)
副委員長	荒 礼子	福田婦人会
委 員	鈴木 千芳	行政区長会
委 員	荒 博史	小中学校長会
委 員	鎌田 智博	PTA連絡協議会
委 員	櫻田 涉	相馬総合高等学校
委 員	森 祥子	家庭教育
委 員	飯土井 美津子	民生児童委員協議会

■ 2 生涯学習・社会教育事業(令和7年度事業計画)

(1) 青少年教育事業

事 業 名	目 的	内 容
青少年健全育成事業	広く町民の創意を結集し、国・県・町の施策と呼応して青少年の健全な育成を図る。	・『新地町青少年健全育成町民会議運営委員会』開催 → 期日:6月12日(木) ・『新地町青少年健全育成町民会議総会』開催 → 期日:6月26日(木) ・『第28回新地町少年の主張大会』開催 → 期日:7月 8日(火) → 会場:新地町文化交流センター ・「家庭の日」の普及啓発と児童生徒の作品募集 ・「十七字のふれあい」作品募集
読書活動ボランティア支援事業	町内各小学校や図書館で活動している『読書活動ボランティア』を支援し、読書活動の推進を図る。	・『読書活動ボランティア』が行う町内各小学校での読み聞かせ、昔語り等、及び図書館でのボランティア活動等の支援。 → 期間:6月~3月
第29回姉妹・友好都市シニアリーダー研修・交流会	姉妹・友好都市である北海道伊達市、新地町、柴田町、亘理町、山元町の5市町のシニアリーダーが一堂に会し、情報交換や交流を行う中で、相互の親睦を深めると共に資質の向上を図る。	・歴史講話、レクリエーション、野外活動、グループ活動等 → 期日:8月6日(水)~8月8日(金) → 開催地:福島県新地町

(2) 家庭教育事業

事 業 名	目 的	内 容
家庭教育学級	町内各小中学校と連携し、保護者及び児童、生徒を対象に講座等を実施し、家庭教育等の充実を図る。	・小学校入学予定児童の保護者を対象に就学時健診を活用した『子育て講座』を実施する。 ・中学校の生徒及び保護者を対象に『保健講話』を実施する。 

(3) 生涯学習応援事業

事業名	目的	内容
各種教室・生涯学習講座	多様な学習機会や活動の場を提供し、一人ひとりがその個性や能力を伸ばし、生きがいのある健康な社会の構築を図り、生涯学習のまちづくりを推進する。	・新地公民館各種教室、講座 ・駒ヶ嶺公民館各種教室 ・勤労青少年ホーム各種教室
新地町職員出前講座	町関係職員等が講師となり、町政の説明や専門知識を活かした講座等を行い、町民の理解を深め、生涯学習のまちづくりを推進する。	・学習メニュー数 38講座 → 期間:4月～3月 → 対象:町内に在住・在勤又は在学する10名以上で構成された団体等
移動教室	町民等のサークル・団体等で自主サークルとして事業を行う際に、講師謝礼の一部を負担することにより、町民主体の生涯学習の普及啓発を図り、生涯学習のまちづくりを推進する。	→ 期間:4月～3月 → 対象:町内に在住・在勤又は在学する10名以上で構成されたサークル・団体等
生涯学習フェスティバル	公民館・勤労青少年ホーム等で学んでいる文化団体・サークル等の成果発表の場づくり及び生涯学習機会の拡大を図る。	・公民館・勤労青少年ホームの各教室生及び利用団体・サークル等の学習発表、作品展、写真展、体験コーナー、手づくり作品等販売など → 期日:令和8年1月24日(土)・25日(日) → 会場:新地町農村環境改善センター・新地町保健センター
学習サークルの案内	各公民館・勤労青少年ホームで活動している学習サークル・文化団体等を紹介し、生涯学習活動の拡大を図る。	・学習サークル紹介のチラシを作成、配布する。 → 団体数:20団体

(4) 男女共同参画推進事業

事業名	目的	内容
男女共同参画推進事業	男女が互いに人権を尊重しつつも責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができ、社会の実現を目指すことを目的に各種事業を実施する。	・男女共同参画プラン推進会議・連絡会議の開催 ・『第24回新地町男女共生のつどい』開催 ・『男の料理教室』開催

(5) 二十歳のつどい

事業名	目的	内容
新地町二十歳のつどい	二十歳という人生の節目を迎えた青年の新しい門出を祝福すると共に社会人として果たすべき義務や権利を再確認し、しっかりと自覚してもらうため式典を実施する。	・式典 ・記念行事 → 期日:令和8年1月11日(日) → 会場:新地町文化交流センター → 対象者:平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれで、町内に住みまたは尚英中学校卒業生

(6) 文化芸術振興事業

事業名	目的	内容
文化芸術振興事業	新地町ゆかりの画家や漫画家たちがふるさとで培った感性や感情を優れた表現力で描いた素晴らしい作品の数々。こうした作品を文化交流センターに一同に展示して、貴重な文化資源を地域の魅力として発信する。 また、町民に文化芸術の創作・発表の場を提供するとともに、文化交流センターを核とした様々な世代・団体等の交流やまちのにぎわいの創出を図る。	アートの町「新地」創造・アートの魅力発信事業 ・新地ゆかりの4人の画家たちの絵画展 ・横山孝雄企画展 ・食の体感イベント ・デジタルスタンプラリー ・SNSフォトコンテスト ・新地アートなTシャツづくり ・新地縄文アート教室 ・魅力招聘ツアー・アートデザイン ・制作ワークショップ ○映画上映会事業の実施 一般向け上映会及び子ども向け上映会の開催 ○ミュージックフェスタの開催



【福田十二神楽 三本剣】



【福田十二神楽 巫女舞】

新地町三村合併70周年記念事業

新地町の風土が生んだ

4人の画家たち展

志賀一男・坂元郁夫
星茂・齋藤研

会期
2024
10/5
10/20

会場
新地町文化交流センター 観望ホール

時間
10時～18時

入場料
大人 500円
小人 300円
小学生以下 100円

EVENT 10/5
オープニングセレモニー＆
画家によるギャラリートーク
観望 10:00～ / アート館 14:00～

新地町も癒しのふるさと
新地町観光協会 TEL: 0234-271-0015

SHINCHI Cafe
新地町観光協会 TEL: 0234-271-0015

SHINCHI Art Fes 2024

★期間：2024年10月5日（土）～10月20日（土）
★観望：10:00～17:00
★アート館：14:00～17:00
★会場：新地町民会館

主催：新地町、新地町観光協会、新地町文化振興会
TEL: 0234-271-0015 FAX: 0234-271-0016

【新地町の風土が生んだ4人の画家たち展】

令和6年10月5日～20日

福田十二神楽について

福田地区諏訪神社に伝わる法印系の神楽。出雲地方の流れを組み、日本の記紀神話に基づいているのが特徴。平成5年3月26日に福島県の重要無形民俗文化財に指定。

元来、福田地区の8歳から12歳までの長男が神楽師として選出され、7年を1期として勤める。22代目まで存続していたが、現在は担い手不足から代は止まっている。

福田十二神楽保存会では、福田小学校の協力を得る事で、授業に神楽を取り込む事で継承が続けている。また、元々女性の演目が無い為、女性専用の巫女の舞を取り入れるなど工夫を行っている。

■ 3 社会体育(スポーツ)事業

(1) 成人等対象事業

事業名	目的	内容
第19回市町村対抗 福島県軟式野球大会	県内各市町村の交流と地域の活性化および生きがいのある健康な社会の構築、スポーツの普及とふるさとおこしに寄与する。	→ 期日:10月 → 場所:県内野球場 → 担当:町野球リーグ (町スポーツ協会加盟)
第12回市町村対抗 福島県ソフトボール大会	県内各市町村の交流と地域の活性化および生きがいのある健康な社会の構築、スポーツの普及とふるさとおこしに寄与する。	→ 期日:10月 → 場所:相馬光陽ソフトボール場 (相馬市) → 担当:町ソフトボール実行委員会
第37回市町村対抗 福島県縦断駅伝競走大会	県民の体力向上と中・長距離選手の育成・強化を図るとともに、各市町村のふるさとおこしに寄与する。	→ 期日:11月16日(日) → コース: しらかわカタルスポーツパーク~福島県庁 (16区間96.3km)
自然体験ハイキング	自然の中をハイキングすることにより、心身の健康に対する意識の向上と町民間の交流を図る。	→ 期日:6月8日(日) → 場所:黒森山 (宮城県女川町) → 協力:町スポーツ推進委員

(2) その他

事業名	目的	内容
スポーツ推進委員 研修・活動等	スポーツの普及、振興の核となるスポーツ推進委員が各種研修へ参加し、資質向上に努め、スポーツの指導、教室開催協力等を行い、町民のスポーツ活動推進に寄与する。	・定例会等の開催 ・研修会への参加 ・ニュースポーツ教室等の開催協力等
新地町スポーツ協会	スポーツ振興を通じて町民の体力向上を図り、アマチュアスポーツ精神を高揚し、明るくたくましい町民等の育成を図る。	・理事会、総会の開催 ・各種町民体育大会等 ・協会加盟団体紹介チラシ発行
スポーツ少年団	スポーツ少年団を育成指導し、アマチュアスポーツの普及振興を図る。	・役員会の開催 ・結団式 ・各種大会等
町民プール	体育の普及、振興並びに町民の健全な心身の発達と健康増進を図るため、夏季に開設する。	→ 開設期間:7月19日(土) ~8月24日(日)
総合型地域 スポーツクラブ支援	「チャレンジしんち」と共催及び後援事業を実施し、総合型地域スポーツクラブの普及、推進を図る。	・役員会、総会、ニュースポーツ、ラージボール、ハイキング、ランニング、パークゴルフ等
文化・スポーツ 激励金交付	文化・スポーツ活動等において、県大会以上の大会に出場する選手等に激励金を交付し、スポーツ活動の振興、育成を図る。	・県大会以上の大会に出場する選手等に激励金を交付する。

■ 4 社会教育・社会体育施設

(1) 社会教育施設

施設名	新地公民館(新地町農村環境改善センター内)
所在地	〒979-2702 新地町谷地小屋字樋掛田40-1
電話等	TEL:0244-62-2085 FAX:0244-62-2172
建築年度	昭和62~63年度
建築面積	1,171 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
施設概要	大集会室、営農技術研修室、視聴覚研修室、生活改善研究室(和室)、加工実習室、農事試験検査室、郷土資料展示室、事務室、身障者用トイレ
開館時間	午前8時30分~午後9時
休館日	祝日 年末年始(12月29日~1月3日)
昨年度の 利用状況	各種発表会 各種会議 各種相談会 各種公民館教室等 利用者数:8,118人

施設名	駒ヶ嶺公民館
所在地	〒979-2611 新地町駒ヶ嶺字新町前29-1
電話等	TEL・FAX:0244-62-3477
建築年度	令和2~3年度
建築面積	995 m ²
構造	鉄骨造
施設概要	多目的ホール(体育室)、多目的室、大会議室、小会議室、調理室、事務室
開館時間	午前8時30分~午後9時
休館日	祝日 年末年始(12月29日~1月3日)
昨年度の 利用状況	会議室:各種会議 各種相談会 各種公民館教室等 利用者数:28,467人

施設名	駒ヶ嶺公民館分館
所在地	〒979-2611 新地町駒ヶ嶺字新町11
建築年度	昭和54年度
建築面積	193 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
施設概要	事務室、収蔵室、展示室
開館時間	午前8時30分~午後5時(不定期)
休館日	祝日 年末年始(12月29日~1月3日)

施設名	勤労青少年ホーム
所在地	〒979-2708 新地町大字福田字中里15-1
電話等	TEL・FAX:0244-62-3106
建築年度	昭和56年度
建築面積	723㎡
構造	鉄筋コンクリート造
施設概要	体育室、集会室、娯楽談話室、調理室、音楽室、更衣室、事務室、相談室、障害者用トイレ、図書コーナー
開館時間	午前8時30分～午後9時
休館日	祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
昨年度の 利用状況	集会室:各種会議 各種相談会 各種公民館教室 音楽室:児童クラブ 体育室:各種スポーツ(卓球、バレーボール等)交流会等 娯楽談話室:各種会議等 利用者数: 7,341人

施設名	新地町文化交流センター
所在地	新地町駅前一丁目3番地
電話等	TEL:0244-32-1301 FAX:0244-32-1302
建築年度	平成29年度～令和元年度
建築面積	1,828㎡
施設概要	多目的ホール、スタジオ1・2、会議室1・2、控室、事務室、ラウンジ、屋外展示交流広場
利用時間	午前9時～午後9時
休館日	毎週火曜日(祝日のときはその翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)
昨年度の 利用状況	多目的ホール:音楽演奏(コンサート等)、演劇、講演会、各種イベント スタジオ:音楽練習等 会議室:各種会議等 利用者数:18,349人

施設名	町民柔剣道場
所在地	〒979-2703 新地町小川字北原15-1
電話等	TEL:0244-62-2780
建築年度	昭和63年度
建築面積	494㎡
構造	鉄筋コンクリート造
施設概要	柔道場、剣道場、更衣室
休館日	祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
競技種目	柔道 剣道
利用状況	スポーツ少年団(柔道、剣道) 尚英中学校部活動(柔道、剣道)

施設名	町民プール
所在地	〒979-2703 新地町小川字北原15-8
電話等	TEL:0244-62-2780
建築年度	昭和51年度
建築面積	水泳プール 500㎡、管理棟 323㎡
構造	鉄筋コンクリート造
施設概要	25mプール9コース、幼児用プール、ミーティングルーム
開設期間	新地日中:7月19日(土)~8月24日(日) 午前9時~午後4時30分 新地ナイター:7月20日(日)~8月24日(日) 午後5時30分~午後8時 福田日中:7月19日(土)~8月24日(日)の土日祝日 午前10時~午後3時
昨年度の 利用状況	新地町民プール: 小学生以下797人 中学生152人 高校生以上204人 合計1,153人 福田町民プール: 小学生129人 中学生4人 高校生以上18人 合計151人

(2) 社会体育施設

施設名	新地町総合体育館
所在地	〒979-2703 新地町小川字川向9-1
電話等	TEL:0244-63-2200 FAX:0244-63-2201
建築年度	平成9~11年度
建築面積	3,808㎡
構造	鉄筋コンクリート・一部鉄骨2階建
施設概要	アリーナ、トレーニング室、会議室、ステージ、更衣室、幼児室、 シャワー室 保健室、テニスコート(2面)外 放送室、観覧席、 ランニングトラック(110m)
開館時間	午前9時~午後9時
休館日	・毎週月曜日(祝日の場合は、その翌日) ・年末年始(12月27日~1月5日)
主な利用 スポーツ	卓球 バスケットボール バドミントン バレーボール インディアカ
昨年度の 利用状況	アリーナ21,344人 トレーニング室6,182人、会議室2,204人、テニスコート 130人 合計29,860人

施設名	町民野球場
所在地	新地町小川字川向9-1
建築年度	平成13年度
敷地面積	17,400㎡
建築面積	518㎡
施設概要	グラウンド(両翼98m)、本部室、放送室、控室、スタンド、夜間照明
利用時間	午前9時~午後5時(夜間使用午後9時まで)
開設期間	4月~11月 ※12月~3月(冬期間)は利用不可
休館日	年末年始(12月27日~1月5日)
昨年度の 利用状況	5,619人

施設名	陸上競技場
所在地	新地町小川字川向9-1
建築年度	平成14年度
敷地面積	13,000㎡
施設概要	200mトラック、ソフトボール場(2面)、サッカー場(1面)
利用時間	午前9時～午後9時
休館日	年末年始(12月27日～1月5日)
主な利用スポーツ	サッカー ソフトボール 野球 グラウンドゴルフ 陸上競技
昨年度の利用者数	6,001人

施設名	新地駅前フットサル場
所在地	新地町駅前二丁目7番地
電話等	TEL・FAX:0244-62-3577
建築年度	平成30年度
建築面積	フットサル棟 1,985㎡、管理棟 99㎡
施設概要	フットサル用コート(2面)
利用時間	午前9時～午後9時
休館日	毎週火曜日・年末年始(12月29日～1月3日)
主な利用スポーツ	フットサル、テニス
昨年度の利用者数	6,122人

施設名	こどもの森
所在地	新地町小川字川向9-1
建築年度	平成15～17年度
敷地面積	42,000㎡
施設概要	イベント広場、野外ステージ、遊具、芝生広場、公衆用トイレ、園路

【新地町の風土が生んだ4人の画家たち展】令和6年10月5日



VII 図書館

■ 1 施設概要

施設名	新地町図書館
所在地	〒979-2702 新地町谷地小屋字樋掛田40-1
電話・FAX	電話:0244-62-5031 FAX: 0244-62-2598
URL	http://www.shinchi-town.jp
E-mail	library@town.shinchi.lg.jp
事業費	636,173千円(保健センター含む事業費 1,217,596千円)
構造	鉄筋コンクリート造鋼板葺2階建
面積	1,541.75㎡ 共有分 89.97㎡ (全床面積 2,915.27㎡)
施設	①開架フロア(一般開架コーナー、一般閲覧コーナー、児童開架コーナー、ブラウジングコーナー、おはなしコーナー、くつろぎコーナー、AVコーナー) ②視聴覚室兼展示室(学習室) ③編集室 ④閉架書庫 ⑤事務室 ⑥ブックポスト(1F)
設備	① 視聴覚機器(テレビ、DVD、VHS、CD) ②電算(貸出返却、レファレンス、利用者検索 他) ③閲覧席 ④ロッカー

■ 2 蔵書

(1) 図書資料

(単位:冊)

分類	一般書	児童書	合計
総記	1,678	275	1,953
哲学	2,077	309	2,386
歴史	4,327	1,416	5,743
社会	6,750	1,418	8,168
自然	3,781	1,873	5,654
技術	5,628	949	6,577
産業	2,008	613	2,621
芸術	6,151	1,170	7,321
言語	943	439	1,382
日文	13,202		13,202
外文	1,210		1,210
辞典	1,962	152	2,114
郷土	3,351		3,351
文庫	3,927		3,927
大活字	363		363
全集	2,202		2,202
YA	978	307	1,285
児童文		5,946	5,946
絵本		7,155	7,155
紙芝居		503	503
合計	60,538	22,523	83,061

(2) 視聴覚資料 (単位:点)

種別	所蔵数
C D	3,808
DVD	654
VHS	194
合計	4,656

(3) 雑誌 (単位:種/冊)

タイトル数	53
所蔵数	1,092

(4) 付属資料 (単位:点)

所蔵数	515
-----	-----

(5) 新聞 (単位:種)

タイトル数	10
-------	----

■ 3 図書館利用カード登録者(団体等)数

令和7年3月31日現在

地 区	男 性	女 性	団体等	合 計	構成比
福 田	541	717	14	1,272	9.8%
新 地	1,575	1,997	59	3,662	28.4%
駒ヶ嶺	839	1,090	14	1,943	15%
図書館			31	31	0.2%
町 外	2,135	3,796	74	6,005	46.6%
合 計	5,090	7,600	192	12,882	100.0%

※町外:隣接市町登録者(相馬市、宮城県山元町、丸森町)

■ 4 新地町図書館協議会委員

任 期	2年	令和7年4月1日～令和9年3月31日	
職 名	氏 名		選 出 区 分
会 長	武 井 慎		学 校 教 育
副会長	鈴 木 美代子		社 会 教 育
委 員	中 塚 久美子		学 校 教 育
委 員	佐 伯 陽 子		社 会 教 育
委 員	田 村 民 雄		学識経験者

■ 5 令和6年度 事業計画

(1) 事業(行事)

事業(行事)名	実 施 日	実 施 内 容
読み聞かせ会	毎月第3土曜日 11:00～	・図書館ボランティア『スイミー』による読み聞かせや季節の工作を行う。 ・館内の紹介コーナーに、使用した本を展示し貸出を行う。
ファーストブック	保健センターでの3カ月児健診時	・幼児絵本の展示及び、資料配布、オリジナル絵本1冊の贈呈。
こどもの読書週間	4月15日～5月29日 	・子ども読書の日(4月23日)、こどもの読書週間(4月23日～5月12日)の啓発に努める。 ・4月15日をよいこの日とし、児童図書受賞作品の展示貸出を行う。 ・図書館きてミッションの実施。(ミッション達成者へ記念品を贈呈) ・児童書の配置図を掲載した「図書館へ行こう」を作成し、子どもたちへ配布。 ・先生向け図書館利用案内を作成し、町内の保育所・小中学校の全先生へ配布。

秋の読書週間	10月中旬～11月末	・秋の読書週間(10月27日～11月9日)文字活字文化の日(10月27日)の啓発に努める。 ・有名作家、人気作家の紹介と図書案内 ・来館者への手作り読書通帳配布 ・たくさん読んで読書くじ(貸出冊数によりくじ引きを行う)
学校図書室連携	訪問は各校年3回程度 (日程調整により実施) その他連携は随時	・図書担当教諭・図書室支援員との懇談。 ・単元やテーマごとの図書リストを作成・配布し、授業での図書利用促進を図る。 ・学校図書室の整備サポート。
図書館×児童館連携 「図書館探検」	7月16日	・児童館のたんぱぽひろばを図書館で開催。親子へ、図書館見学・利用説明・絵本紹介と読み聞かせ・DVD視聴を行う。
小学校夏休み特別 個人貸出事業 (移動図書館)	貸出期間:7月上旬～8月上旬	・駒ヶ嶺・福田小学校に本を搬入し、全児童を対象に貸出を行う。 ・利用カード未作成児童へのカード作成。
読書感想画コンクール	募集:7月・8月 審査会:10月 表彰・展示:11月	・町内の小中学校の児童・生徒を対象に作品募集・審査会を開催、図書館まつりの際に表彰式を行う。
子どもの読書と本の案内	就学前検診時 10月(3回)	・新1年生の保護者へ「子どもの成長と読書」の説明、おすすめ図書の案内・貸出、新1年生には絵本の読み聞かせを行う
除籍資料リサイクル	10月下旬:関係機関 図書館まつり時:利用者	・除籍した図書(破損本等)・雑誌(2023年度分)のリサイクル。
図書館まつり	11月上旬	・除籍資料リサイクル・クイズラリー・体験コーナー・親子ふれあい広場(読み聞かせ・工作など)・郷土上映・各種展示などを行い、図書館のPRに努める。
町内の学校・施設への 図書館コーナー設置 事業	選書日:毎月第2金曜日 入替日:館内整理日	・町内の小中学校の各クラス、駒ヶ嶺公民館・勤労青少年ホーム・総合体育館・フットサル場・新地ホーム・なごみの里福田・文化交流センター・防災緑地公園パークセンターに毎月本の入替展示を行い、活用を推進する。
読書推進事業	年4回 	町民の読書意欲向上と図書館利用促進を図るイベントを行う。 ・ぬいぐるみお泊り会(お気に入りのぬいぐるみが図書館で過ごす) ・絵本カバーでパズルづくり(絵本に興味・親しみを持つ) ・図書の福袋・おみくじ(福袋やおみくじ)

前頁から続く 読書推進事業		で出た本を借りる、新たなジャンルの 本と出会うきっかけ作り) ・読書講演会(読書に係る講演会・講習 会等の開催)
------------------	--	---

(2) 企画展示

展 示 名	実 施 日	実 施 内 容
季節の絵本展	毎月1回程度	・年中行事、新地町の行事に関連する 絵本や紙芝居の展示・貸出。
夏休みおすすめ本の 展示	7月中旬～8月末	・課題図書・読書感想画(文)の書き方・ 俳句や理科学研究の参考図書など、夏休 みにおすすめの図書の展示・貸出。
身体と心を見つめなお すウェルネスブック	9月	心や身体の健康に関する予防・ケア・家 族や身近な人の対処法・体験記等の展 示・貸出。
閉架書庫資料展	2月中旬～3月中旬	・普段目に触れないが、ぜひ手にとって欲 しい閉架書庫の資料の展示・貸出。
郷土資料展	11月中旬～12月末	・新地町出身者の著書、新地町のことが 掲載されている図書の展示・貸出。
各種ランキング図書の 展示	各賞発表後随時	・本屋大賞(4月発表)、新地町図書館ベ ストリーダー(4月集計)、芥川賞・直木 賞(7・1月発表)、ミステリーランキング (12月発表)、2024年間ベストセラー (12月発表)、絵本屋さん大賞(1月発 表)の展示・貸出。
映画・テレビ原作・関連 図書紹介	年6回程度	映画になった本、テレビ上映の原作や関 連する図書の展示・貸出

(3) 図書館協議会関係

- * 図書館協議会及び選書会 5月下旬 図書館視聴覚室
- * 図書館協議会 2月下旬 図書館視聴覚室

(4) 図書館体験学習・視察・研修等受入

- * 職場体験
- * 図書館見学
- * 町たんけん

(5) ボランティア活動受入

- * 図書館ボランティア『スイミー』:読み聞かせ会(毎月第3土曜日)、図書館まつり、各施設・校
内図書館コーナーの図書準備・入替作業
- * 読書活動ボランティア『さくら』:各施設・校内図書館コーナーの図書準備・入替作業、図書
館まつり、小学校夏休み特別個人貸出事業
- * 図書館まつりボランティア :郷土資料視聴覚コーナー

(6) 出前講座等への職員派遣

- ＊ 依頼により、館長及び司書が出前講座を行う。
- ＊ 新地町文化交流センターでのこども映画上映会サポート

(7) 蔵書点検

- ＊ 特別整理期間を設け、全資料（約8万冊）の状況とデータの確認・適正化、配架位置の改善、展示物の変更等を行う。（6月）

(8) オンラインサービスの充実

- ＊ インターネット予約促進や、福島県立図書館との相互貸借・遠隔地返却等、連携の充実を図る。

(9) 職員研修

- ＊ 専門研修や先進地視察等により、職員の資質向上を図る。

(10) 子ども読書活動推進計画

- ＊ 新地町子ども読書活動推進計画（平成26年3月策定）の改定を行う。

各種行事写真



駒ヶ嶺小学校2年生 図書館見学学習



図書館まつり 読書感想画コンクール受賞者表彰



福田小6年生職場体験
普段は入れない閉架書庫での活動



読み聞かせ会
「絵本 はらぺこあおむし」のカルタを使ったゲーム

VIII 関係団体

■ 1 新地町文化協会(令和7年5月23日現在)

会 長	目黒 淳
副会長	角田 正悦
監 事	目黒 巖
	伊藤 芳子
庶 務	目黒 佳子
	村畑 喜恵子
会 計	土屋 友利恵

部 門	団 体 名	代 表 者	会員数(名)
文 学	新地野ぶどう俳句会	斎藤 賢一	9
美 術	書 道	荒井 芳子	6
	新地絵画クラブ	目黒 利彦	6
音 楽	コールしおさい	大和田初子	11
	ウイングポップス楽団(洋楽)	井上 和文	17
	鹿狼アルプホルン倶楽部	八巻 秀行	10
	オカリナしんち	寺島 博文	11
	アミーゴdeシンチ	目黒 淳	12
	チカ&テツ	鈴木智佳子	2
芸 能	新日本舞踊村井流新竜会	水戸 修子	9
	聖真会	林 真記子	18
	カラオケ・パンジー会	鵜田 京子	5
趣 味	新地町茶道愛好会(茶の湯サロン)	目黒 静枝	6
	新地町華道教授会	渡辺由起子	3
	パンフラワー・アトリエ夢羅	村畑 喜恵子	9
郷土史	新地町郷土史研究会	加藤 潤一	27
	子眉嶺神社	土屋友利恵	3
計	17団体		163名

■ 2 新地町スポーツ協会(令和7年6月1日現在)

会 長	林 浩徳	陸上クラブ
副会長	中江 義昭	卓球クラブ
理事長	加藤 順一	柔道会
監 事	渡辺 祐吉	サッカー協会
	斎藤 賢一	パークゴルフ協会
顧 問	大堀 武	新地町長
事 務 局	木幡 邦枝	教育総務課長
	黒沢 知子	教育総務課副主幹兼課長補佐兼生涯学習係長
	林 勝彦	教育総務課生涯学習係
	林 重貴	教育総務課生涯学習係
	加藤 千夏	教育総務課生涯学習係
	土生 惟香	教育総務課生涯学習係

(前頁から続く)

部門	団 体 名	代表者名	事務担当	会員数(名)
陸上	陸上クラブ	鈴木 健志	鈴木 健志	24
球 技 等	新地野球リーグ	目黒 康平	目黒 康平	88
	新地卓球クラブ	中江 義昭	中江 義昭	69
	新地ゴルフクラブ	目黒 雅夫	目黒 雅夫	47
	新地町パークゴルフ協会	森 直人	森 直人	76
	新地町グラウンドゴルフ協会	横山 光男	横山 光男	29
	新地町バドミントン協会	松谷 秀寿	松谷 秀寿	75
	新地町インディアカ協会	大内 広行	大内 広行	36
	新地サッカー協会	水戸 俊一	水戸 俊一	161
武 道 等	新地町柔道会	加藤 順一	加藤 順一	13
	新地町剣友会	菅野 誠一	菅野 誠一	12
	新地町空手協会	荒 司	荒 司	9
登山	鹿狼・山の会	後藤 一茂	後藤 一茂	46
計	13団体			685名

■ 3 総合型地域スポーツクラブ(令和7年4月1日現在)

「チャレンジしんち」組織

三 役	会 長	早川 清
	副会長	目黒 巖・八巻 京子
運営委員	広報・スポーツ・イベント担当	目黒 巖・工藤 憲治
	パークゴルフ担当	水戸 春生・小野フミ子
	ラージボール卓球担当	八巻 京子・加藤 吉光
	ウォーキング担当	水戸 誠・高橋トシイ
	スポーツ吹き矢担当	小賀坂義廣・藤原 道子
	懐メロをうたう会担当	村山 正之・門馬 純子
事務局	事務局長	小幡 仁子
監 事		高木 友子・菅野 孝雄

■ 4 新地町スポーツ少年団(令和7年6月1日現在)

■ 本部長	黒 脇 浩之	(町柔道)
副本部長	菅野 誠一	(町剣道)
	黒 脇 浩之	指導者代表(町柔道)
	菅野 誠一	指導者代表(町剣道)
	早川 幸寿	指導者代表(SKFBベースボールクラブ)
	加藤 孝佳	指導者代表(尚英中野球部)
	荒 達也	指導者代表(新地ジュニアバスケット)
	寺島 政和	指導者代表(尚英ガッツJVC)
	小泉 英明	指導者代表(新地ジュニアバレー)
	荒 司	指導者代表(町空手)
	泉沢 誠	指導者代表(アステルFC)
	寺島 達人	育成会代表(町柔道)
	向坂 雄丞	育成会代表(町剣道)
	早川 幸寿	育成会代表(SKFBベースボールクラブ)
	小泉 英	育成会代表(尚英中野球部)
	鎌倉 典子	育成会代表(新地ジュニアバスケット)
	伏見 祐樹	育成会代表(尚英ガッツJVC)

(前頁から続く)

	目黒裕紀子	育成会代表(新地ジュニアバレー)
	鈴木ゆかり	育成会代表(町空手)
	泉沢かすみ	育成会代表(アステルFC)
	林 浩徳	新地町スポーツ協会代表
	早川 清	総合型地域スポーツクラブ代表
	武井 慎	福田小学校校長
	橋本 浩幸	尚英中学校校長
監 事	青田 祥一	福田小学校校長
	荒 達也	指導者代表(新地ジュニアバスケ)
幹 事	菅野 孝雄	スポーツ推進委員代表
	鎌田 智博	PTA連絡協議会会長
顧 問	泉田 晴平	教育長
事務局	木幡 邦枝	教育総務課長
	黒沢 知子	教育総務課副主幹兼課長補佐兼生涯学習係長
	林 勝彦	教育総務課生涯学習係
	林 重貴	教育総務課生涯学習係
	加藤 千夏	教育総務課生涯学習係
	土生 惟香	教育総務課生涯学習係

種 目	チ ャ ム 名	代表者名	団員数(名)
柔 道	新地町柔道	黒髭 浩之	9
剣 道	新地町剣道	菅野 誠一	7
野 球	SKFベースボールクラブ	早川 幸寿	5
	尚英中野球部	加藤 孝佳	16
バレーボール	尚英ガッツJVC	小泉 英明	14
	新地ジュニアバレー	寺島 政和	11
空 手	新地町空手	荒 司	17
バスケットボール	新地ジュニアバスケ	荒 達也	12
サッカー	アステルFC	泉沢 誠	36
7種目	9団体		127名

【生涯学習フェスティバルより】



【ふくしま駅伝】



IX 新地町教育の沿革

西暦	和 暦	事 項
1872	明治 5年 1月 5月24日 6月 8月 2日	仙台県は「宮城県」となり、新地はその管轄となる 谷地小屋村で共立学校「観海堂」の開校式(初代学長 氏家閑存) 駒ヶ嶺村で金竜院を借りて学校を設立 学制公布
1873	明治 6年 6月 2日 6月 4日	観海堂を「谷地小屋小学校」と改称、福田村に谷地小屋小学校東林寺支校の設置 「駒ヶ嶺小学校」と改称
1874	明治 7年 6月	谷地小屋小学校新築移転
1876	明治 9年 8月	福島県が誕生。福島県管轄となる
1878	明治11年 5月16日	福島県第26区第11番乙福田小学校開校式(教員5名、生徒49名)
1889	明治22年 4月	合併により福田村(旧福田村、埴木崎村、真弓村)、新地村(旧谷地小屋村、杉目村、小川村、大戸浜村、今泉村)、駒ヶ嶺村が誕生
1890	明治23年	新地貝塚の調査(若林勝邦)
1894	明治27年	三貫地貝塚の発見(館岡虎三)
1906	明治39年 1月	新地実業補習学校創立(現新地高校)、新地小学校に併置
1930	昭和 5年 2月28日	新地貝塚、国史跡指定
1947	昭和22年 4月 1日	福田村立福田小学校、新地村立新地小学校、駒ヶ嶺村立駒ヶ嶺小学校と改称。3村に新制中学校創立 県立新地高等学校と改称
1948	昭和23年 4月	教育委員会法制定 社会教育法制定 各村に公民館の設置
1954	昭和29年 8月20日	新地村誕生(旧福田村、新地村、駒ヶ嶺村)
1958	昭和33年	新地小学校建築(工事費1,700万円)
1960	昭和35年	駒ヶ嶺中学校完成
1965	昭和40年 2月19日 4月 1日 1月	新地小学校旧校舎焼失 尚英中学校開校(旧福田中、新地中、駒ヶ嶺中が統合) 新地小学校増築校舎完成(工事費1,200万円)
1966	昭和41年 4月19日	観海堂県史跡指定 駒ヶ嶺小学校焼失
1968	昭和43年12月10日	駒ヶ嶺小学校新校舎完成 三貫地貝塚県史跡指定
1969	昭和44年 1月 3月19日	尚英中学校新校舎完成 福田小学校新校舎落成式(工事費3,795万円) 新地小学校屋内運動場建設
1970	昭和45年 7月	村民プール(新地)完成 村民プール(福田)完成(工事費992万円)
1971	昭和46年 8月 1日	駒ヶ嶺小学校プール完成(工事費694万円) 町制施行
1972	昭和47年11月 2日	町制施行により新地町立小・中学校と改称
1977	昭和52年	町民プール完成
1978	昭和53年 9月24日	新地小学校創立百周年
1980	昭和55年 3月	福田小学校創立百周年
1982	昭和57年 2月 3月	駒ヶ嶺公民館建設(工事費1億1,200万円) 新地町史(資料編)発行 勤労青少年ホーム建設(工事費1億2,800万円)
1989	平成元年	史跡の町づくり基本計画策定 新地町奨学資金貸付制度始まる
1991	平成 3年 8月	新地小学校改築落成(14億9,000万円) ALT配置
1993	平成 5年 3月26日 3月	福田十二神楽県指定重要無形民俗文化財 新地町史(自然民俗編)発行

西暦	和 暦	事 項
1995	平成 7年	観海堂解体復元(工事費4,923万円)
1997	平成 9年 3月	白幡の銀杏・県指定天然記念物(樹齢約240年)
	4月	新地町立図書館開館(工事費6億3,600万円)
1998	平成10年 4月	尚英中学校新校舎(工事費21億5,000万円)使用開始
1999	平成11年 3月	新地町史(歴史編)発行
2001	平成13年 3月	新地町総合体育館完成(工事費17億円)
		駒ヶ嶺小学校校舎完成(工事費20億5,000万円)
	10月22日	新地町公民館(優良公民館)文部科学大臣表彰
2003	平成15年	町民野球場完成(工事費4億5,700万円)
		陸上競技場完成(工事費2億3,500万円)
		生涯学習フェスティバル開始
2004	平成16年 4月20日	藤崎大般若経・町有形文化財指定
	7月	新地町男女共同参画プラン策定
	8月	TRY塾(中学生対象)開始
2005	平成17年 7月	ハローイングリッシュ教室開始(5,6年生対象)
2006	平成18年	総合公園、子どもの森完成(工事費2億1,000万円)
2007	平成19年 3月	「新地町の文化財」小冊子発行
		英検教室、小学校3校交流授業開始
2008	平成20年	教育行政の外部評価開始
2009	平成21年 4月23日	町図書館「子供読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰
		ICT環境整備事業完成(事業費4,800万円)
		理科教育設備の整備完了(～平成21年 事業費1,000万円)
2010	平成22年 4月	学習支援員小中全校配置
	4月23日	福田小学校「子供読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰
	6月	福田小学校耐震補強・大規模改修校舎屋体完成(3億3,000万円)
	12月27日	総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト」採択(3小学校)
2011	平成23年 2月	ICT支援員配置(3小学校)
	3月11日	東日本大震災(津波により観海堂が全壊流失)
	8月30日	総務省「フューチャースクール推進事業」及び文部科学省「学びのイノベーション事業」採択(尚英中)
2012	平成24年 1月27日	第1回新地町ICT活用発表会(新地町内3小学校)
	2月10日	楽器贈呈式 & 記念コンサート(シチズンウオッチイタリア、シチズンウオッチヨーロッパ)
	2月	「コカ・コーラ 復興支援基金」による太陽光発電および蓄電池の町内全校設置
		心のサポーター配置(小中全校)
	4月	町内各学校への介助員の配置
	9月 9日	新地町立小中学校太陽光発電システム竣工セレモニー
	9月30日	宝くじスポーツフェア「ドリームベースボール」開催
	11月16日	第2回新地町ICT活用発表会(新地小学校・尚英中学校)
2013	平成25年 7月18日	越生町中学生との交流事業(越生中学校生徒30名尚英中訪問)
	7月23日	ふくしまっ子応援プロジェクト 大分県 (小学生30名参加)
	7月29日	東北青少年音楽交流会(新地町総合体育館)
	8月 8日	滋賀県竜王町交流事業(児童12名参加)
	9月18日	第3回新地町ICT活用発表会(駒ヶ嶺小学校・尚英中学校)
	11月19日	新地小学校父母と教師の会 公益社団法人 日本PTA全国協議会表彰
2014	平成26年 2月28日	家庭学習用問題集 小学生の知恵袋「ち・か・ら」完成 全児童に配付(5/27)
	4月 5日	「ことばはこころの鏡」パンフレット町内全世帯配付
	4月11日	文部科学省「平成26年度スーパー食育スクール事業」指定
	4月23日	新地町読書活動ボランティア 文部科学大臣表彰
	7月29日	福田町民プール完成(1億7,807万円)
	10月 6日	総務省「先導的教育システム実証事業」及び文部科学省「先導的な教育体制構築事業」採択
	11月14日	第4回新地町ICT活用発表会(駒ヶ嶺小学校・尚英中学校)
2015	平成27年 4月14日	文部科学省「平成27年度スーパー食育スクール事業」指定
	8月 1日	和歌山県上富田町交流事業～8/9(児童3名参加)

西暦	和 暦	事 項
2016	11月 7日	オリンピックムーブズ(尚英中学校)東京オリンピック・パラリンピック組織委員会等主催
	11月18日	第5回新地町ICT活用発表会(町内全4校)
	11月18日	福田小学校父母と教師の会 文部科学大臣表彰
	12月 1日	駒ヶ嶺小学校「第48回花いっぱいコンクール」県教育長賞受賞
	平成28年 3月 7日	新地小学校十七字のふれあい学校賞受賞(相双教育事務所管内)
	4月 1日	総務省「先導的教育システム実証事業」及び文部科学省「先導的な教育体制構築事業」継続
	7月 9日	尚英中学校日産財団「第4回理科教育賞」受賞
2017	7月22日	平成28年度福岡・大分交流授業～7/26(町内児童18名参加)
	8月14日	学校情報化先進地域認定:日本教育工学協会
	11月18日	第6回新地町ICT活用発表会(町内全4校)
	平成29年 3月 7日	ICT地域活性化大賞奨励賞(総務省))
	3月 9日	新地小学校十七字のふれあい学校賞受賞(相双教育事務所管内)
	6月 1日	文部科学省「つながる食育推進事業」指定 ※モデル校 新地小学校
	7月22日	平成29年度福岡・大分交流授業(児童18名参加)
2018	10月22日	駒ヶ嶺小学校「全国花のまちづくりコンクール」農林水産大臣賞受賞
	10月23日	福田小学校:時事通信社「教育奨励賞」努力賞受賞
	11月 1日	駒ヶ嶺小学校教師と父母の会「社会教育功労顕著な団体」表彰
	11月 1日	福島県学校給食会「福島県教育委員会教育長賞」受賞
	11月16日	第7回新地町ICT活用発表会(町内全4校)
	11月24日	新地小学校父母と教師の会 文部科学大臣表彰
	平成30年 2月 7日	福島県教育委員会優秀教員表彰 尚英中学校 渡邊順子養護教諭
2019	2月 7日	新地小学校「ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト」体力・食育推進2部門受賞
	3月 9日	尚英中学校:十七字のふれあい学校賞受賞
	4月21日	新地小学校「子どもの読書活動」文部科学大臣賞
	6月 1日	平成30年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰(総務省)
	6月 5日	文部科学省「つながる食育推進事業」指定(2年目) ※モデル校新地小学校
	6月10日	駒ヶ嶺小学校緑の少年団:第69回全国植樹祭参加(南相馬市)
	11月 2日	福田小学校:福島県統計グラフコンクール奨励学校賞受賞
2020	11月 4日	駒ヶ嶺小学校:「第49回花いっぱいコンクール」県知事賞受賞
	11月14日	第8回ICT活用発表会(町内全4校)
	平成31年 1月21日	ふくしま地産地消大賞優秀賞受賞 ※県内教育委員会では初
	4月26日	駒ヶ嶺小学校:「緑化推進運動功労者」内閣総理大臣賞受賞
	4月26日	新地駅前フットサル場オープン(事業費1億8,700万円)
	令和元年11月11日	租税教育推進感謝状受賞
	11月13日	第9回ICT活用発表会(町内全4校)
2021	令和 2年 5月21日	日本ICT教育アワード賞受賞
	8月 1日	新地町文化交流センター開館(事業費14億2,300万円)
	11月13日	第10回ICT活用発表会(町内全4校)
2022	令和 3年 2月13日	福島県沖地震発生(M7.3 最大震度6強 新地町6強)
	8月 1日	町制施行50周年(8月1日)
	11月12日	第11回ICT活用発表会(町内全4校)
2023	令和 4年 3月 1日	駒ヶ嶺公民館開館(事業費4億9,500万円)
	3月16日	福島県沖地震発生(M7.4 最大震度6強 新地町6弱)
	8月21日	おおいた児童招致事業(～23日)
	11月11日	第12回ICT活用発表会(町内全4校)
	11月17日	福島県町村教育長協議会研修大会浜大会開催(～18日) (於:新地町文化交流センター)
	11月18日	駒ヶ嶺小学校:日本PTA全国協議会「優良PTA文部科学大臣表彰」
	令和 5年 4月 1日	150周年記念事業(新地小、駒ヶ嶺小)
	8月 5日	おおいた児童招致事業(～7日)
	10月14日	三貫地貝塚里帰り展示(～22日)
	11月 8日	第13回ICT活用発表会(町内全4校)
	11月25日	志賀一男&坂元郁夫絵画展(～12月3日)

西暦	和 暦	事 項
2024	令和 6年 7月12日	新地ゆかりの建築家「遠藤 新」展(～17日)
	7月17日	新地町と株式会社 福島民報社との連携協力協定締結
	8月 2日	おおいた児童招致事業(～4日)
	8月20日	新地村・福田村・駒ヶ嶺村 三村合併70周年(式典 令和6年10月26日)
	10月 5日	新地町の風土が生んだ4人の画家たち展(～20日)
	11月 8日	第14回ICT活用発表会(町内全4校)
	12月 7日	新地町縄文文化企画展2024(～15日)



新地町 ICTジュニアリーダー



ICT教育の先進的取組を
10年以上も推進して
いる新地町の子も達

まちづくりへ参画
デジタル人材育成

➡

新地町
ICTジュニアリーダー

○ これまでに培ったICTスキルを活用して、学校内外のデジタル活用の場面で活躍。→ **ICTで自分の良さを生かす!**

○ 町の人々が参加するデジタル教室での積極的なボランティア活動。→ **ICTで人の役に立つ!**

○ 情報モラルについての広報や、町の人と関わったり、学校や町の良さを発信したりすることで、まち作りの担い手となる。→ **ICTで郷土愛を育む!**



【対象者】 ○町内の小学6年生～中学2年生

【要 件】 ○情報モラル検定「エンサップ検定」終了

○新地町キーボード入力タイピング検定の学年基準を達成

○校長先生の推薦

○新地町教育委員会講習会に1回参加

【活動内容】 ○学校内のデジタル活用場面で自分のスキルを生かした活動

○町のデジタル教室でボランティアとして町民の機器操作支援

○学校や町を紹介する広報活動

○情報モラルの実践

【募集時期】 ○10月下旬～11月





〈 表 紙 の 土 器 ・ 石 器 に つ い て 〉



【新地式土器】（新地貝塚近隣の畑より出土）

【石鏃（せきぞく・石でできたやじり）】

縄文文化の研究者、山内清男（やまのうち・すがお）は、多種多様な縄文土器の文様や形の 違いが、時代ごとの違いと捉え、全国の貝塚から出土する土器を時代ごとに並べ、この説が 正しいことを証明した。研究を進める中、その指標となる土器を〇〇式土器と呼称することとしたが、縄文時代後期後半から晩期前半（今から約3000年ほど前）によく作られた形状のもの＝「小さなコブを貼付けるなどの特徴を持つ土器」を新地貝塚から出土した土器を指標とすべく「新地式土器」とした。これらの土器は、新地式土器として日本中の考古学者の間で認知され、現在では新地式土器が出土した遺跡は、約3000年前の遺跡であると判断されるようになったのである。写真の新地式土器は、山内が唱えた新地式土器の特徴をよく表現している。

新地貝塚からは多くの石器が出土する。写真の石鏃（せきぞく）は、すべて新地貝塚内で畑の耕作中に出土したものである。石鏃は固く、鋭利に割れやすい頁岩（けつがん）と呼ばれる石を使って製作されるが、新地町では取れない種類の石も多く使われている。3000年前の新地貝塚の人々が他の地域と交流があったことがわかる遺物である。

新地町教育委員会

○教育総務課

〒979-2792

福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田30番地

TEL:0244-62-4477 FAX:0244-62-2369

E-mail : kyoiku@town.shinchi.lg.jp

○新地公民館

〒979-2702

福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田40番地の1

TEL:0244-62-2085 FAX:0244-62-2172

E-mail:s-koumin@town.shinchi.lg.jp

○図書館

〒979-2702

福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田40番地の1

TEL:0244-62-5031 FAX:0244-62-2598

E-mail:library@town.shinchi.lg.jp

URL:http://library.shinchi-town.jp

○文化交流センター

〒979-2709

福島県相馬郡新地町駅前一丁目3番地

TEL:0244-32-1301 FAX:0244-32-1302

E-mail:shinchikoryu@an.wakwak.com